

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2020年7月)

【内政】

- 国際NGOトランスペアレンシー・インターナショナルが発表した2020年腐敗認識指数において、ベナンはアフリカ諸国の中で10位、世界80位に位置づけられた。(23日、L'Économiste 紙)
- 29日、新野党「民主党」が内務・治安省により正式に認可された。同党に元FCBE党员、旧UN党の幹部が参加し、エリック・ウンデテ元国民議会副議長が党首に選出された。(30日、L'Événement Précis 紙)

【外政】

- 27日、タロン大統領は、マリの政局危機に関するECOWAS臨時首脳会議(テレビ会議)に参加した。(30日、L'Événement Précis 紙)

【治安・保健】

- ・ 7日、ペ駐ベナン中国大使は、新型コロナウイルス対策の一環として、習近平国家主席夫人によるベナン国民への医療物品(マスク、赤外線体温計等)の供与式にタロン大統領夫人、ウンパティン保健大臣とともに出席した。(9日、La Nation 紙)

【経済】

- ・ 1日、世界銀行が発表した2020-2021年主要国所得階層別分類において、ベナンは低所得国から下位中所得国へと格上げされた。これはモロッコ、コートジボワール、セネガル等と同じ分類となる。(6日、La Nation 紙)
- ・ 7日、小西淳文駐ベナン日本国大使は、新型コロナウイルス対策として実施される3億円相当の医療機材供与に係る交換公文署名式をウンパティン保健大臣立ち会いの下、アベノンシ外務・協力大臣との間で行った。(8日、La Nation 紙)
- ・ 15日、小西淳文駐ベナン日本国大使とクロディーヌ・タロン財団は、草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みで実施された3A地区の保健センターへの救急車供与に係る引渡式を実施した。(17日、L'Économiste 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙、および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 6日、4月7日に開会した2020年国民議会第一通常会期が閉会した。司法制度の近代化、汚職防止のための警察組織改革に関する法案等を可決した。(8日、La Nation 紙)

- ・ 7日、高等視聴覚通信局(HAAC)は、通信情報法に基づき、合法化されていないインターネットメディアに対して制裁を課すことを通知し、近日中に出版活動を停止するよう通達を出した。(8日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 20日、タロン大統領の要請により、国民議会第3特別会期が招集された。資金洗浄・テロへの資金援助対策、国防上の秘密に関する法案等が審議される。(20日、La Nation 紙)
- ・ 国際NGOトランスペアレンシー・インターナショナルが発表した2020年腐敗認識指数において、ベナンはアフリカ諸国の中で10位、世界80位に位置づけられた。(23日、L'Économiste 紙)
- ・ 20日、ヤイ・ボニ前大統領のイニシアティブにより新野党「民主党(Les Démocrates)」が創設予定であることが声明で公表された。ソグロ元大統領は、同党創設に向けた自身の関与を否定した。(21日、Le Matinal 紙)
- ・ 29日、新野党「民主党」が内務・治安省により正式に認可された。同党に元FCBE党员、旧UN党の幹部が参加し、エリック・ウンデテ元国民議会副議長が党首に選出された。(30日、L'Événement Précis 紙)

【外政】

- ・ 1日、アベノンシ外務・協力大臣は、60か国を超える外相が参加した「デジタル分野における新型コロナウイルス対策」に関する国際会議(ビデオ会議)に参加した。(2日、La Nation 紙)
- ・ 13日、ビオ・チャネ計画・開発大臣は、SDGsに関するハイレベル政策フォーラム(テレビ会議)に出席し、ベナンの取り組みを紹介した。(14日、La Nation 紙)
- ・ 27日、タロン大統領は、マリの政局危機に関するECOWAS臨時首脳会議(テレビ会議)に参加した。(30日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 28日、ビオ・チャネ計画・開発大臣は、ベナン国民の食糧安全保障の観点から、世界食糧計画(WFP)と食糧分野での支援に関する基本合意を締結した。(29日、La Nation 紙)

【治安・保健】

- ・ 3日、ベン駐ベナン中国大使は、新型コロナウイルス対策としてエリマ国民議会第一副議長へ防護・消毒用品を提供した。(6日、Le Matinal 紙)
- ・ 3日、ナイジェリア国境のセメ・ポジ市において、ガソリンの密輸容疑者とナイジェリア税関との間で衝突が発生した。容疑者1名が射殺され、2名の少年が流れ弾にあたり負傷した。(7日、L'Économiste 紙)
- ・ 5日、ウンパティン保健大臣はテレビに出演し、ベナンにおいて新型コロナウイルスの市中感染が徐々に拡大していることを認めた。(7日、Le Matinal 紙)
- ・ 7日、ベン駐ベナン中国大使は、新型コロナウイルス対策の一環として、習近平国家主席夫人によるベナン国民への医療物品(マスク、赤外線体温計等)の供与式にタロン大統領夫人、ウンパティン保健大臣とともに出席した。(9日、La Nation 紙)

- ・ 17日、フランス開発庁(AFD)は、ウソパティン保健大臣に対し新型コロナウイルス対策として重症患者を対象とした医療機材の供与を行った。(20日, La Nation 紙)
- ・ 24日、ECOWASの推奨に従い、ベナン政府は治安危機早期警告・対策センターを設立することを決定した。任務は、治安、保健、食糧、環境等に関する情報を収集することである。(28日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ 1日、世界銀行が発表した2020-2021年主要国所得階層別分類において、ベナンは低所得国から下位中所得国へと格上げされた。これはモロッコ、コートジボワール、セネガル等と同じ分類となる。(6日, La Nation 紙)
- ・ 7日、小西淳文駐ベナン日本国大使は、新型コロナウイルス対策として実施される3億円相当の医療機材供与に係る交換公文署名式をウソパティン保健大臣立ち会いの下、アベノンシ外務・協力大臣との間で行った。(8日, La Nation 紙)
- ・ 12日、行政のデジタル化を進めるズマル・デジタル経済・デジタル化大臣は、中等教育修了資格試験受験者がオンラインで試験結果を確認できるプラットフォーム「e-resultat.bj」を開設することを公表した。(16日, La Nation 紙)
- ・ 国立統計・経済分析研究所の発表によれば、2020年4月にベナンで登録された企業の総数は、2,056件にのぼる。(16日, L'Économiste 紙)
- ・ 世界銀行による2019年世界GPD統計で、ベナンはUEMOA圏第5位に位置づけられた。(同1位コートジボワール、2位セネガル、3位マリ、4位ブルキナファソ)(16日, L'Économiste 紙)
- ・ 15日、小西淳文駐ベナン日本国大使とクロディーヌ・タロン財団は、草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みで実施された3A地区の保健センターへの救急車供与に係る引渡式を実施した。(17日, L'Économiste 紙)
- ・ 29日、ベナン政府は、新型コロナウイルスの経済的影響を緩和するため、中小・零細企業を対象に財政支援を実施することを閣議決定した。(30日, La Nation 紙)
- ・ 27日、ベナン財務省は、経済の活性化及び農業セクターの強化を目的として、UEMOAの債券市場で1千億CFAフラン(約200億円)の資金を調達した。(30日, La Nation 紙)
- ・ 30日、ドイツ国際協力公社(GIZ)は、税関職員の新型コロナウイルス感染を予防するため、ベナン関税・間接税総局に対し防護機器を提供した。(8月4日, La Nation 紙)

【文化・その他】

- ・ 1日、NGOソーシャル・ウォッチ・ベナンは、国際NGOトランスペアレンシー・インターナショナルと共同で、約40名のジャーナリストを対象に、腐敗対策のツールとしての調査報道に関するセミナーを開催した。(3日, La Nation 紙)

- ・ 2日、タロン大統領は6日から予定されている初等教育修了資格試験の受験者に対し、受験時に新型コロナウイルス感染対策を遵守するよう求めるとともに、励ましの声明を発表した。(3日, La Nation 紙)
- ・ 3日、W国立公園の治安安定化と生物多様性の保護のため、ベナン政府はNGO・African Parks とパートナーシップ協定を締結した。(6日, L'Économiste 紙)
- ・ 6日、初等教育修了資格試験が開始され、ベナン全土746会場で206,313名の生徒が受験した。(6日, La Nation 紙)
- ・ 13日、中等教育修了資格試験が開始され、ベナン全土233会場で149,398名の生徒が受験した。(10日, Le Matinal 紙)
- ・ 16日、オルトラ通信・郵便大臣兼政府報道官は、メディア界の代表者らと意見交換会を開催し、現状のメディアの問題点の解決に向け協議した。(20日, Le Matinal 紙)
- ・ 17日、フランスからベナンへ返却されることになっている文化財について、ブリュモー駐ベナン仏大使とアビンボラ観光・芸術・文化大臣との間で具体的な返却プロセスに関する意見交換がなされた。(20日, La Nation 紙)
- ・ 2020年世界幸福度調査が公表され、ベナンは86位に位置づけられた。2012年の初回調査時は102位であった。(29日, La Nation 紙)